

令和3年度第1回 東御市文書館運営委員会 会議録

日時 令和3年11月10日(水)

午前10時30分から午前11時50分

場所 北御牧公民館 第2学習室

○主催者（事務局）：教育委員会事務局教育部教育課文化財係

○出席者

委員：児玉卓文委員長、寺島隆史委員、斎藤洋一委員、飯島貞夫委員、渡邊洋子委員

事務局：教育次長 坂口光江、教育課長 山邊修、主幹 山内智晴、文化財係主査 小林美和、
文化財専門員 堀田雄二、職員 西澤浩、田中浩江

○欠席者

委員：関豊春職務代理

○討議内容及び経過

なお、個人情報に係る部分につきましては、公表を控えさせていただきます。

1 開会

異動職員の紹介

2 あいさつ

児玉卓文委員長

3 協議事項

(1) 令和3年度文書館作業の進捗状況について

ア 史資料の整理作業について

説明要旨

前回運営委員会からこれまでの整理作業について説明

質疑・意見

委員 東御市現用文書は、4課しかないか。

事務局 他2課から打診がある。廃棄対象文書の中で資料として使用しエチル場合がある。文書管理委員会では、令和4年度から廃棄年限か5年保存以上のものは、すべて文書館へ異動することを試行する予定と聞いている。

委員 現用文書というより非現用になったものである。平成30年度以前のものほどのようになっているのか。

事務局 廃棄対象の文書でも資料として課であったり個人が保管しているものがあるが、他は処分されている。

委員 目録上で廃棄対象のものでも保管が必要。目録だけでも管理できないか。廃棄対象のうち保存対象文書を目録上で確認することが必要。システム化するのがいい。

委員 史資料の整理作業の「原口区●●●●文書」は県立歴史館からどのような経緯で保管されることになったか。

事務局 前館長が、歴史館で古書店から一括買い取った中に東御市のゆかりの文書がある

ということで地元で保管するようにと受けたもの。●●氏が誰かはわからない。
●●姓は原口にはない。縦折り版で、原口区のことを書かれている。

イ 文書館通信の発行について

説明要旨

8号 加治木銭（かじきせん）の展示、9号 大日本史について、10号 『家事学習長』、
11号 軍事郵便約550通、12号 戌立遺跡の国指定旧滋野村役場資料、の掲載について説明。

(2) 令和3年度文書館受入打診史資料について

説明要旨

資料説明

質疑・意見

委員 ●●家は、どういった家か。

事務局 八重原の家。黒澤家より古い。1640年ころ。上州白倉城（群馬県甘楽町）から落ち
延びた一族との伝承がある。沢水を使い田を耕した記述がある。

(3) 展示史資料について

説明要旨

資料説明

(4) 来館者数及び利用者について

説明要旨

10月、11月は市内小学生の見学で人数が多い。小諸市から牧野家文書を見に来館、小諸市教
育委員会が埋蔵文化財等の保存状態を見るために来館。県外、千葉県は考古学関係者。

質疑・意見

委員 小学生の見学では、文書資料をどのように説明するか。

事務局 読み方を教えると、興味を持つ子どもがいる。扱い方を教えて、見学させている。

委員 文書館は、かつての北御牧村庁舎なので保管環境がいい。文書展示も増やしてほしい。

事務局 廊下の展示は低い展示ケースに入れ替えたい。布引鐵道の資料からも展示をしたい。

委員 現在の館の職員人数は。

事務局 2人で対応している。埋蔵文化財の発掘作業にも出るため、不在の場合もある。

委員 職員増員もしてほしいが、2人から減らないように希望する。館内の作業内容は。

事務局 主なものは文書クリーニングとタグ付け、目録データのパソコン入力と修正等。

(5) その他

説明要旨

「長野県上田小県地域の植物相研究」について文化財保護審議会の川上委員の編集文を紹介。
北御牧郷土資料館に所蔵されていた明治後期から昭和中期の植物標本についてのレポート。